

# 一般質問一覧表

田原市議会第4回定例会（第2日・第3日）

平成23年12月5日・6日

## ●個人質問

順番	議席	氏名	会派名	質問事項	ページ
1	13	藤井 敏久	田原新生会	(一問一答方式) 新年度の予算編成について	1
2	2	仲谷 政弘	田原新生会	(一問一答方式) 広域幹線道路整備の取組について	2
3	19	太田由紀夫	田原新生会	(一問一答方式) 1 小中学校施設の窓ガラスなどの飛散防止について 2 開業医の高齢化による後継者問題について	3
4	10	辻 史子	公明党 田原市議団	(一問一答方式) たはら21新農業プランに基づく「産地づくり・ゆとりづくり」の取組と課題について	5
5	6	荒木 茂	田原新生会	(一問一答方式) 1 鳥羽伊良湖航路の活性化について 2 渥美半島一周自転車道路整備について	6
6	17	小川 貴夫	田原新生会	(一問一答方式) 1 緊急輸送道路及び避難路の整備について 2 たはら21新農業プランの検証について	8
7	1	平松 昭徳	田原新生会	(一問一答方式) 広告事業について	10
8	11	彦坂 久伸	田原新生会	(一問一答方式) 1 田原市教育振興基本計画の進捗状況について 2 教員の多忙化解消について 3 防災教育の取組について	11
9	14	牧野 京史	田原新生会	(一問一答方式) 行政改革への取組状況について	14
10	18	杉浦 文平	無所属クラブ	(一問一答方式) 田原市バイオマスタウン構想について	15

## 新年度の予算編成について

質問者 藤井 敏久 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

来年も大変厳しい財政運営、行政運営を強いられることが予想される。このような状況の中で、新年度の予算編成になるが、具体的な予算編成方針について伺う。

## 広域幹線道路整備の取組について

質問者 仲谷 政弘 議員

### 質 問 要 旨（一問一答方式）

地域活性化に大きな効果をもたらす高速道路又は自動車専用道路の整備がされれば、時間的移動距離が広がり、流通、ビジネス、旅行、医療、福祉等、さまざまな分野で便利になり、地域発展に大いに繋がると思う。田原市も、長年に渡り広域幹線道路整備が推進されているが、今一度、本市の今後の発展に欠かすことのできない広域幹線道路整備の取組について伺う。

- 1 東三河縦貫道路軸の渥美半島部分の整備計画と進捗状況は。
- 2 広域幹線道路の進捗状況は。

# 1 小中学校施設の窓ガラスなどの飛散防止について

質問者 太田由紀夫 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

小中学校の施設の耐震化は既に完了していると伺っているが、最近では3連動ではなく5連動地震発生が予想されている。

耐震補強工事により、校舎などの学校施設崩壊の心配はないと思われる。しかし、照明器具の落下、窓ガラスの割れた破片が子どもたちにとって凶器になると考えられる。田原市の将来を担う子どもたちの安全確保を図るためには、特に学校施設の窓ガラスなどの飛散防止処置が必要であると考えます。

そこで伺う。

- 1 窓ガラスなどの飛散防止対策ができていない小中学校施設はどのくらいあるか。
- 2 避難所に指定されている体育館の窓ガラスなどの飛散防止対策はどのようなになっているか。

## 2 開業医の高齢化による後継者問題について

質問者 太田由紀夫 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

本市は、現時点では各地域に多くの開業医が存在し、市民が安心して医療にかかることができる状態であるが、10年、20年先を見据えたとき、高齢化や後継者問題への不安もあり、医者がいない地域ができるということが危惧されている。

本年3月議会の一般質問で、医師確保修学資金等貸与事業を開業医まで拡充してはとの質問に対し、この事業は基幹病院である渥美病院の医師確保を目的とした事業であることや、開業医まで拡大するには問題も多いことから、拡充は考えていないとの答弁であった。

そこで、開業医の高齢化や後継者問題に対して、市として今後どのように対応していくのか伺う。

たはら21新農業プランに基づく「産地づくり・ゆとりづくり」の取組と課題について

質問者 辻 史子 議員

質 問 要 旨 (一問一答方式)

近年、東日本大震災など大規模な自然災害の多発や国際政治、世界経済における変動期に直面し、何かしらの不安を抱えている人がふえている。

『たはら 21 新農業プラン』に示されている将来像として「みんなに愛される農業楽土」を築くことを日本一の農業を誇る田原市から強く発信するべきであると考えます。

そこで以下の点について伺う。

- 1 施策の基本方針「産地づくり」として、これまでの地域ブランド戦略の取組状況は。
- 2 施策の基本方針「ゆとりづくり」として、これまで農業に従事する女性に対し、どのような支援をし、豊かな農村生活を援助してきたか。
- 3 「ゆとりづくり」交流・食育の推進事業における今後の課題について、どのように考えているか。

# 1 鳥羽伊良湖航路の活性化について

質問者 荒木 茂 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

三重県鳥羽市と田原市をフェリーで結ぶ鳥羽伊良湖航路は存続、再始動から約1年を経過し、運航する伊勢湾フェリーは関係自治体の公的資金などの支援により自立再建へ歩み始めている。

そこで伺う。

- 1 現在の利用状況について。
- 2 今後の活性化に向けた施策について。

## 2 渥美半島一周自転車道路整備について

質問者 荒木 茂 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

今後の渥美半島における観光施策には「体験」、「参加」がキーワードになると思う。その一つとして、有望なアイテムが「自転車」である。現在は一大自転車ブームであり、各メディアにも多く取上げられ、また健康、エコにもマッチし、渥美半島、本市をPRするのに最適なツールであると言える。

そこで伺う。

- 1 渥美半島一周自転車道路整備の現状について。
- 2 「渥美半島ぐる輪サイクリング」を本市で主催する考えは。



# 1 緊急輸送道路及び避難路の整備について

質問者 小川 貴夫 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

本市においては、現在、田原ふ頭へつながる主要地方道豊橋渥美線が第1次緊急輸送道路、国道42号と国道259号が第2次緊急輸送道路に位置付けられている。

「現在指定されている輸送道路で本当に物資が届くのか」、「渥美病院まで救急患者を運んでいけるのか」という市民の心配の声が多く聞かれる。

そこで伺う。

- 1 災害時における緊急輸送道路等の整備状況について。
- 2 田原市都市計画マスタープランでは、道路の被災により孤立するおそれのある集落に関しては、代替路を確保するため、補助アクセス路の選定、整備の検討を進めるとあるが、どのような状況となっているか。

## 2 たはら21新農業プランの検証について

質問者 小川 貴夫 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

農業は田原市を支えてきた主要産業であるとともに、市民生活に密接に結びついている。

しかしながら、農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、従来から課題とされてきた担い手不足や遊休農地などの対処に加え、環境保全対策、情報化への対応、食育の推進などの施策が求められている。

「たはら21新農業プラン」が策定されて4年が経過し、計画期間10年の約半分が過ぎようとしている。今一度、このプランに対しての検証が必要であると考え

る。

そこで伺う。

- 1 このプランの施策の基本方針の一つである農業経営の活性化の施策である販路拡大の推進についての現状の取組と課題について。
- 2 農業用代替エネルギー推進事業の現状の取組と課題について。

## 広告事業について

質問者 平松 昭徳 議員

### 質 問 要 旨（一問一答方式）

広告事業については、現在、全国的にも各市町で様々な取組が行われており、近隣の東三河の各市でも、何らかの媒体で事業が行われている。

本市においても、様々な広告媒体で募集が始まり、11月1日発行の広報たはらには、既に広告が掲載されている。

そこで伺う。

- 1 広告事業の目的と必要性をどのようにとらえているか。
- 2 現在の取組状況と具体的な目標について。
- 3 広告事業の広告主に対するアプローチ、案内方法について。
- 4 今後の事業展望について。

# 1 田原市教育振興基本計画の進捗状況について

質問者 彦坂 久伸 議員

## 質 問 要 旨 (一問一答方式)

平成 22 年 3 月に策定され 2 年が経過しようとしている「田原市教育振興基本計画」について、計画の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

## 2 教員の多忙化解消について

質問者 彦坂 久伸 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

本年3月議会で教員の多忙化問題について質問したが、日常業務や部活動への対応などが多忙化の要因との答弁であった。これらの要因にどのように対処されたか伺う。

### 3 防災教育の取組について

質問者 彦坂 久伸 議員

#### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

東日本大震災は、防災対策に根本的な見直しを迫るものであった。学校防災も例外ではない。東日本大震災以降の小中学校の防災教育への取組状況について伺う。

## 行政改革への取組状況について

質問者 牧野 京史 議員

### 質 問 要 旨（一問一答方式）

現在の我が国の自治体は未曾有の財政的な危機に直面し、行政運営の大きな変革期を迎えている。本市においても、今後数年間は大変厳しい財政状況が続く見通しであり、今こそ全庁一丸となって行政改革に取り組むべき時である。

そこで、伺う。

- 1 第2次田原市行政改革大綱の進捗状況について。
- 2 事務事業評価の目的と成果について。

## 田原市バイオマスタウン構想について

質問者 杉浦 文平 議員

### 質 問 要 旨 (一問一答方式)

田原市バイオマスタウン構想については、策定されて既に3年9か月余りが経過している。

策定時にもバイオマスの利活用が問題点として認識され説明を受けているが、これまで取り組んできた事業内容等について以下のとおり伺う。

- 1 構想を進める上におけるその後の問題点について。
- 2 問題点を解決するための施策について。
- 3 問題点解決の時期及び構想の実現スケジュールについて。